

2022年12月期 本決算説明会



お客さまと共に交通死亡事故ゼロを目指して
～安全ビジョン「人機官能×人機安全」を制定～
駆動力・操舵力制御を用いた「二輪安定化支援システム」

ヤマハ発動機株式会社
2023年2月13日
(証券コード:7272)

本日ご説明する内容

2022年12月期 本決算

代表取締役社長	日高 祥博
取締役上席執行役員	設楽 元文

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

経営総括

2022年の総括

■初の売上高2兆円と営業利益2,000億超え

- ・需要堅調で増収。損益分岐点経営の推進、価格転嫁、為替効果で増益。
- ・財務基盤安定： 営業利益率 10.0%、ROE 18.7%、ROIC 11.9%、ROA 11.2%

2023年の展望

■外部環境

- ・海上運賃の高騰は一服。人件費や原材料等のコストは引き続き上昇を見込む
- ・半導体不足は年末に向けて徐々に改善

■事業

- ・ランドモビリティ：新興国二輪車需要は堅調、販売伸長。値上効果継続
- ・マリン：欧米で大型船外機の高い需要が続く
- ・ロボティクス：車載需要は堅調。中国内需・設備投資需要は下期回復を見込む
- ・金融サービス：景気減速影響と金利動向を注視

■株主還元

- ・2022年は10円増配し、1株当たり年間125円。2023年は130円を予想

2022年実績 経営状況

過去最高の売上高・各利益を達成。
損益分岐点経営の結果、高い利益率を維持。

(億円)	2019年 実績	2021年 実績	2022年 実績
売上高	16,648	18,125	22,485
営業利益	1,154	1,823	2,249
営業利益率	6.9%	10.1%	10.0%
経常利益	1,195	1,894	2,393
当期純利益※	757	1,556	1,744
当期利益率	4.5%	8.6%	7.8%

2019年 比	2021年 比
135%	124%
195%	123%
+3.1pts.	△0.1pts.
200%	126%
230%	112%
+3.2pts.	△0.8pts.

(\$・€)	109・122	110・130	132・138
(\$/IDR・BR\$)	14,087・3.9	14,236・5.4	14,805・5.2

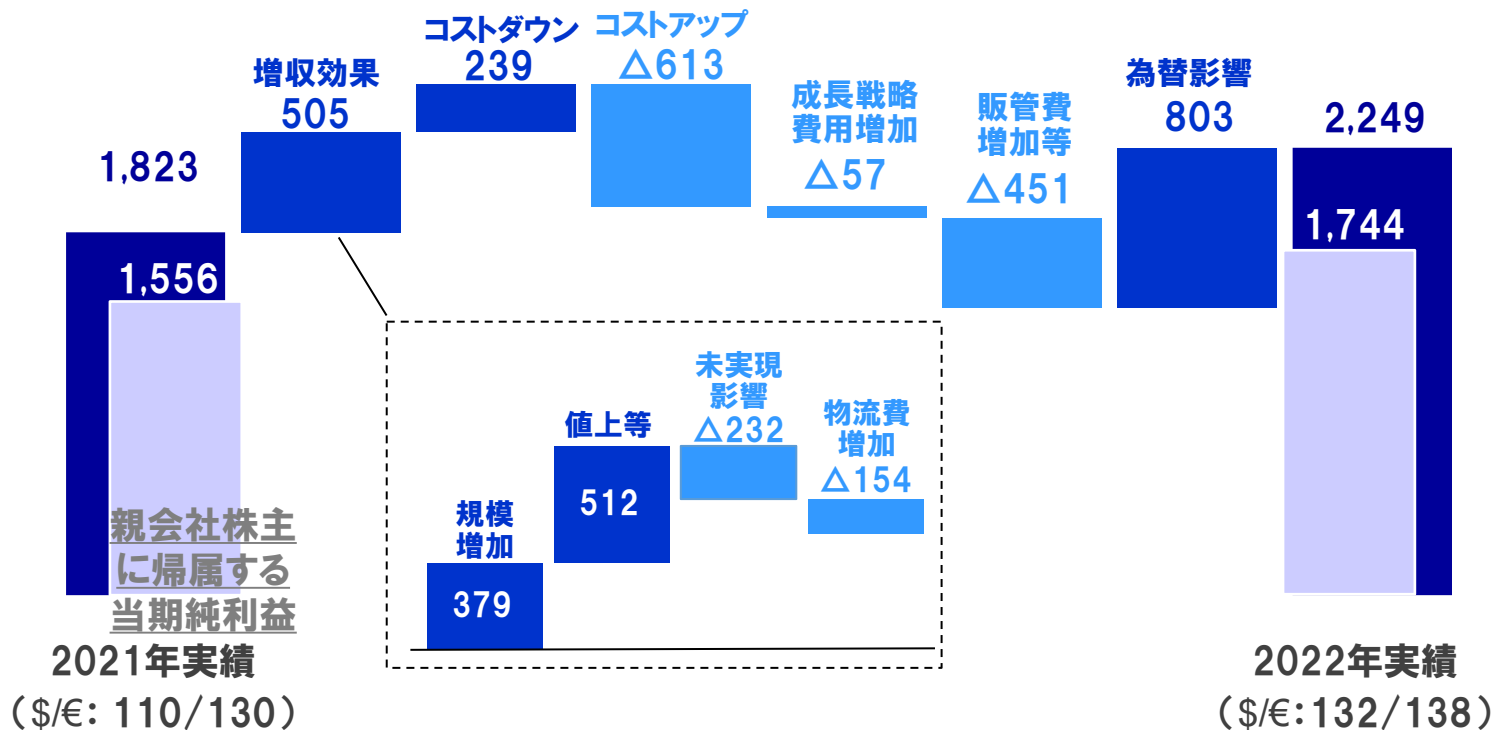
—	—
—	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年 営業利益変動要因（要素別）

コストアップと販管費の増加に対して規模の増加と価格転嫁を推進し、
為替のプラス効果により増益。

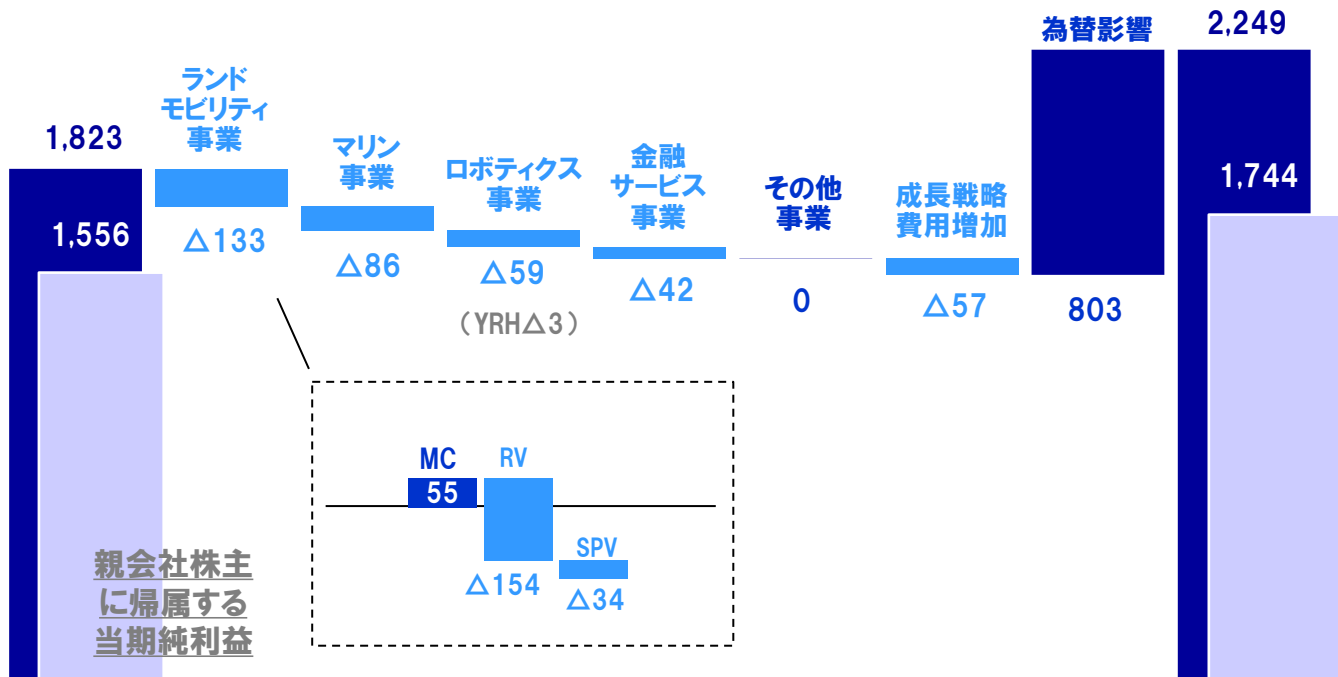
（億円）



2022年 営業利益変動要因（事業別）

原材料価格や物流費高騰の影響を受けたが、二輪車事業が増益。
マリン事業は未実現利益影響を除けば増益。

（億円）



2021年実績

(\$/€:110/130)

2022年実績

(132/138)

2023年予想 経営状況

売上高・営業利益は増収・増益。過去最高を更新。
営業利益率は中期経営計画目標の9%以上を維持。

(億円)	2021年 実績	2022年 実績	2023年 予想	前年比
売上高	18,125	22,485	24,500	109%
営業利益	1,823	2,249	2,300	102%
営業利益率	10.1%	10.0%	9.4%	△0.6pts.
経常利益	1,894	2,393	2,300	96%
当期純利益 [※]	1,556	1,744	1,600	92%
当期利益率	8.6%	7.8%	6.5%	△1.2pts.
(\$・€)	110・130	132・138	125・135	
(\$/IDR・BR\$)	14,236・5.4	14,805・5.2	15,500・5.3	

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2023年予想 当社出荷台数・在庫

二輪車は需要堅調。主力モデルの供給は年末にかけて回復見通し。
大型船外機の販売は前年比増加。

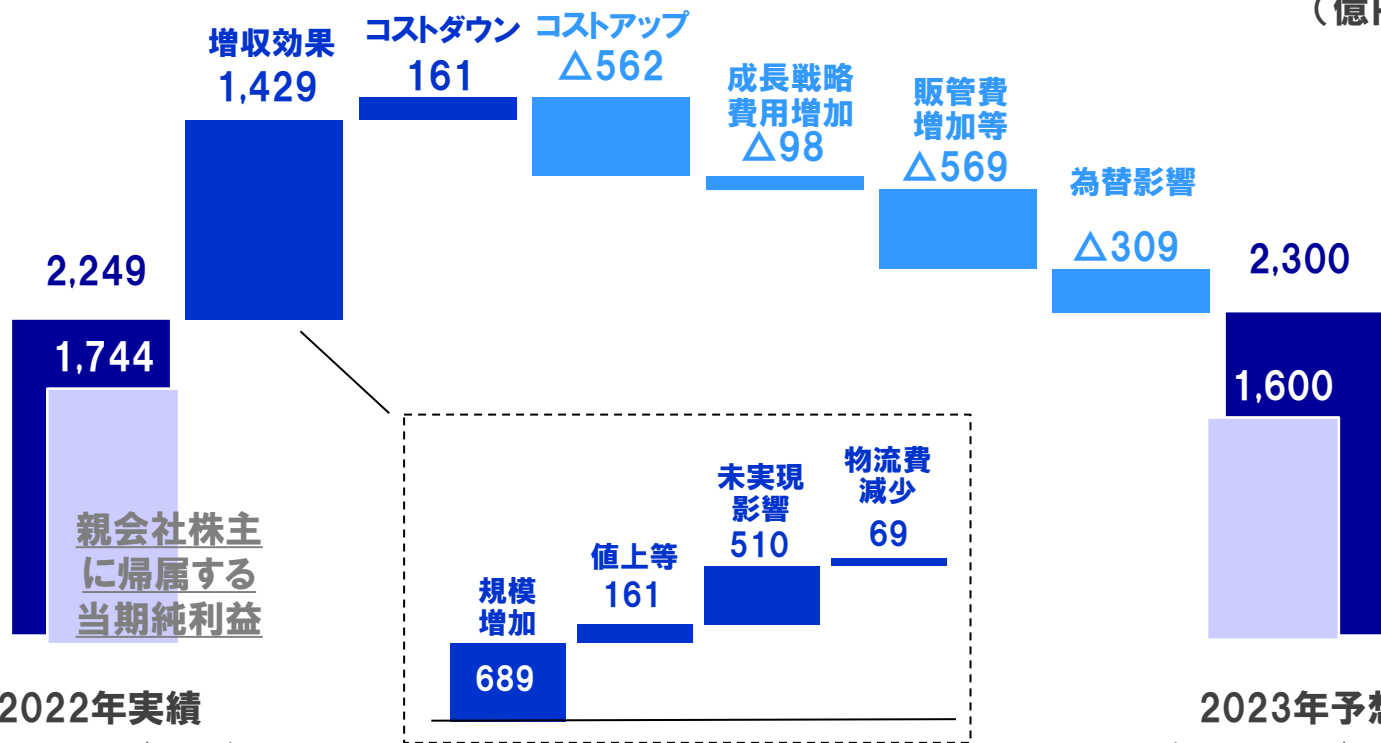
		2021年比		2022年比	
商品/地域		台数	在庫	台数	在庫
二輪車	欧州・米国・日本	114%	149%	110%	95%
	インドネシア	108%	62%	99%	115%
	タイ	98%	99%	88%	96%
	ベトナム	126%	99%	108%	93%
	フィリピン	117%	112%	114%	98%
	中国	129%	104%	111%	89%
	インド	116%	89%	108%	131%
	ブラジル	162%	233%	142%	125%
ATV+ROV	北米	88%	134%	98%	101%
PAS		128%	-	134%	-
船外機	北米・欧州	108%	174%	98%	83%
マウンター		102%	-	111%	-

※在庫は各年末時点の実績。二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫。

2023年予想 営業利益変動要因（要素別）

コストアップ、販管費の増加に対し、増収効果で吸収。

（億円）



2022年実績 (\$/€: 132/138)

2023年予想 (\$/€: 125/135)

2023年予想 営業利益変動要因（事業別）

金融サービス事業を除くすべての事業で増益。

（億円）



2022年実績

（\$/€:132/138）

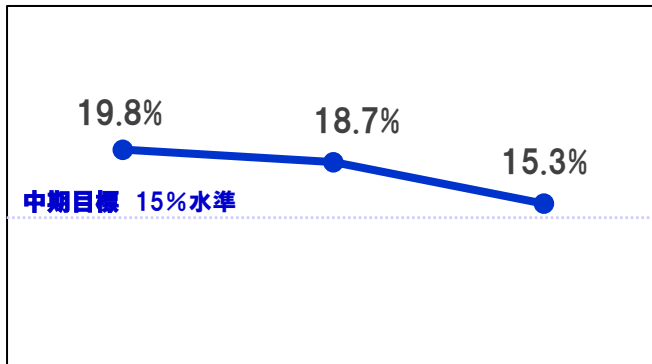
2023年予想

（125/135）

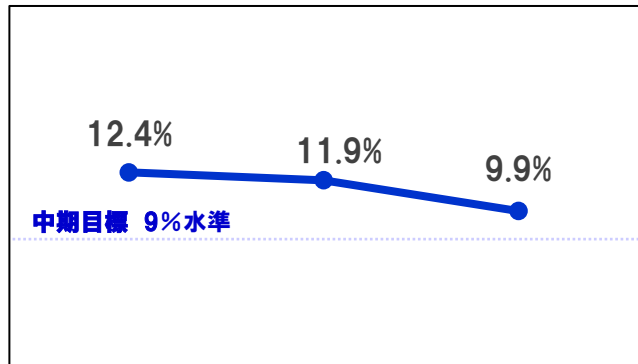
主要財務指標

中期目標値の水準を継続的に上回る。

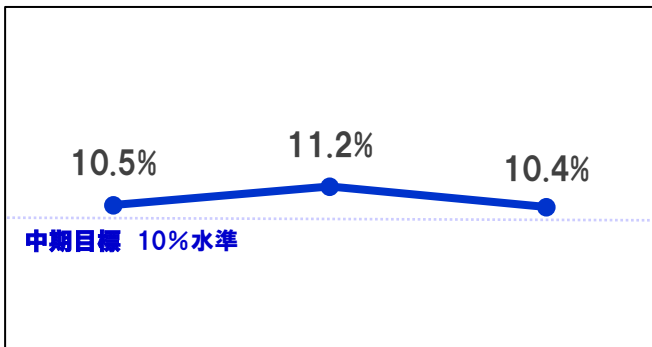
ROE



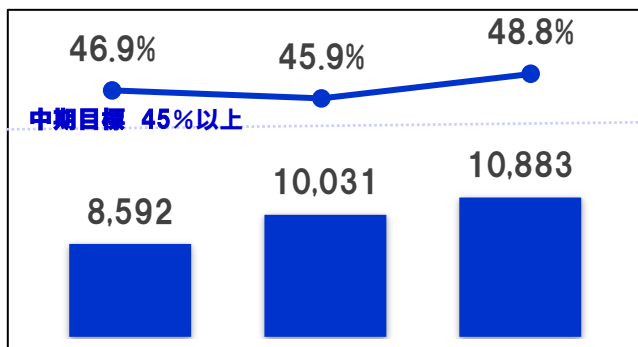
ROIC ※1



ROA ※2



自己資本(億円)・自己資本比率



2021年実績

2022年実績

2023年予想

2021年実績

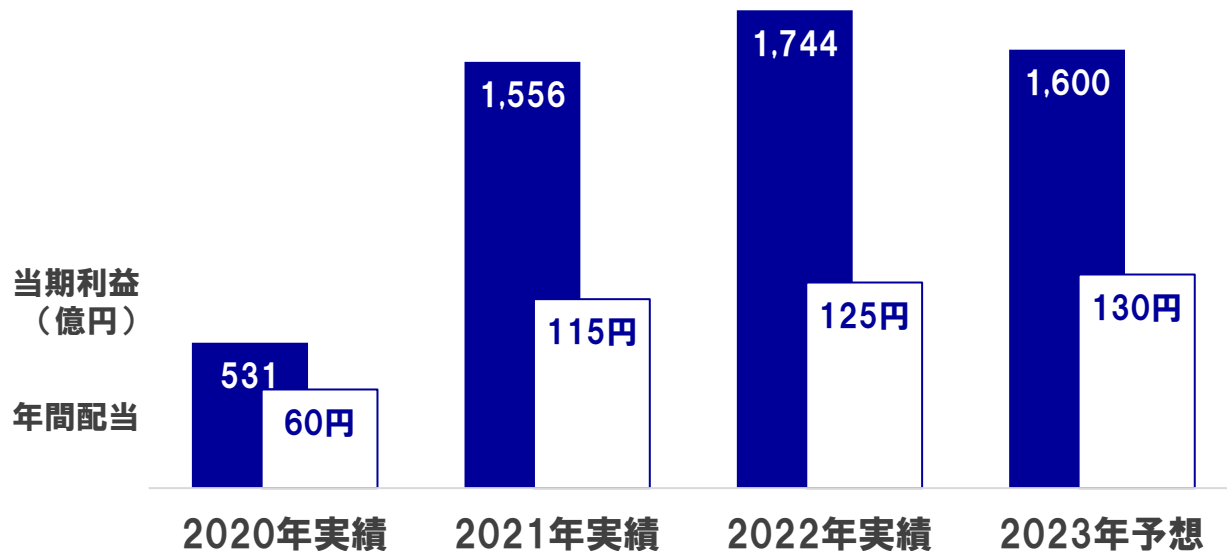
2022年実績

2023年予想

※1 ROIC=当期利益/(自己資本+有利子負債) ※2 ROA=営業利益/総資産

株主還元

好調な業績を受け、前回予想から10円増配。
2023年は130円を計画。安定的・継続的な株主還元を行っていく。



	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2023年予想
EPS	151.89円	445.67円	511.5円	473.1円
自己株式取得額	-	110億円	200億円	300億円
総還元性向	39.5%	32.8%	35.7%	46.2%

『人機**官能**×人機**安全**』

お客さまと共に2050年交通死亡事故ゼロを目指して

技術

※1
世界初の
ミリ波レーダー連携UBS等搭載車を発表

「TRACER9 GT+」



技量

世界中で
※2
安全・普及活動を13万人に実施
(2024年目標 35.2万人)



つながる

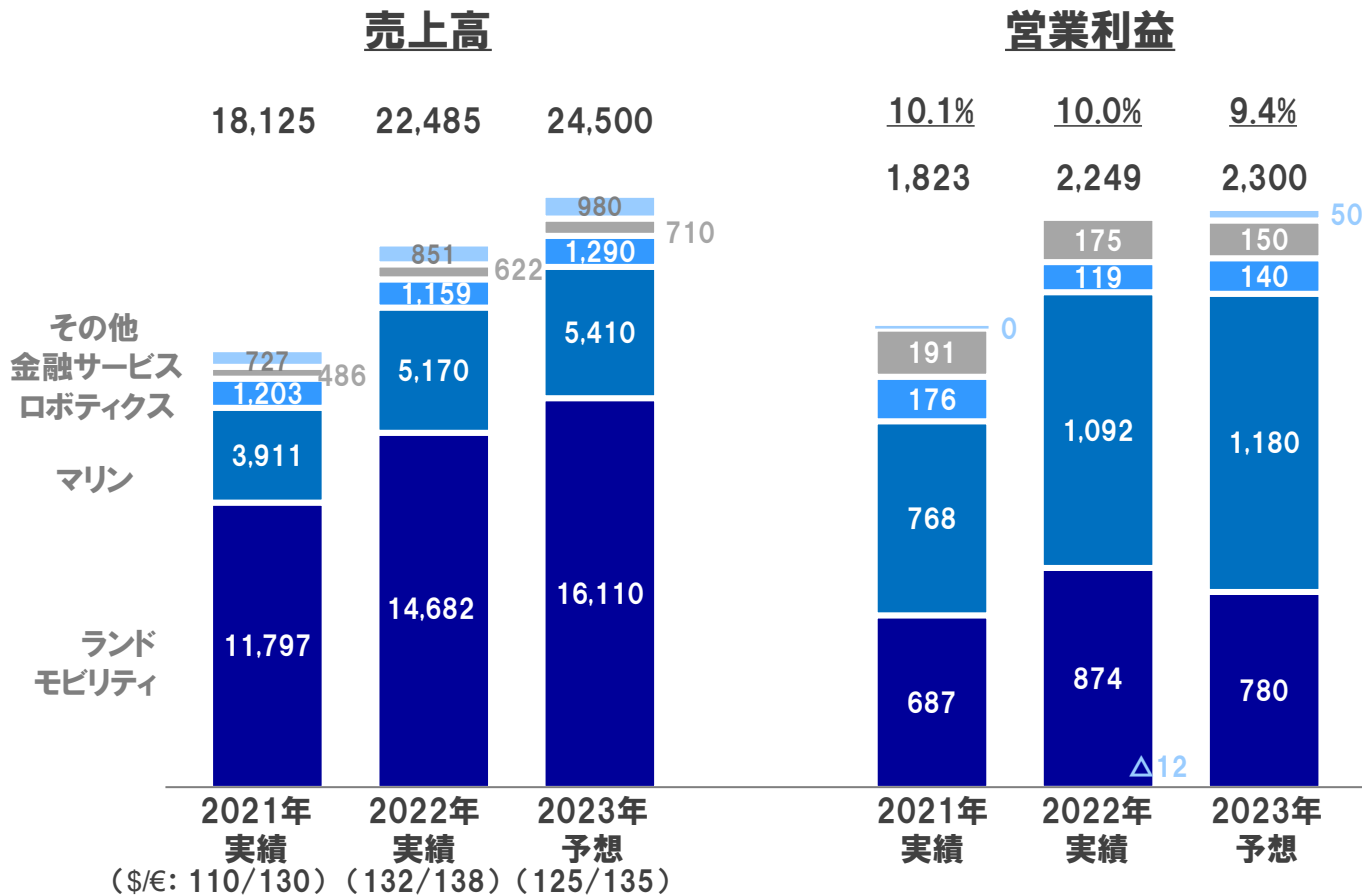
コネクテッド車両 累計92万台販売
(2024年目標 累計250万台)
ヤマハID登録者数260万人
(2024年目標 470万人)



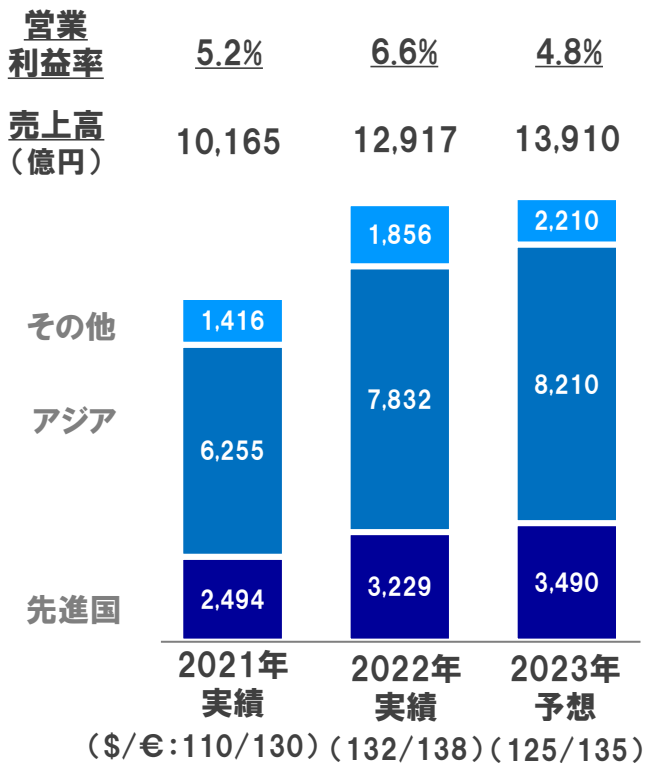
事業別説明

事業別 売上高・営業利益

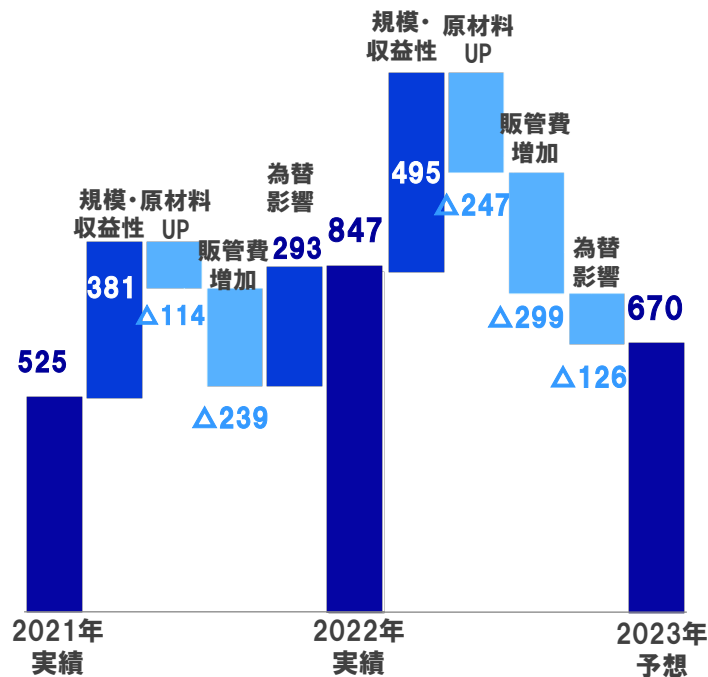
(億円)



開発・製造・販売が一体となり部品調達不足影響を最小化。販売台数増加で増収・増益。
2023年は販売台数改善と価格転嫁で増収を計画。



利益変動内訳

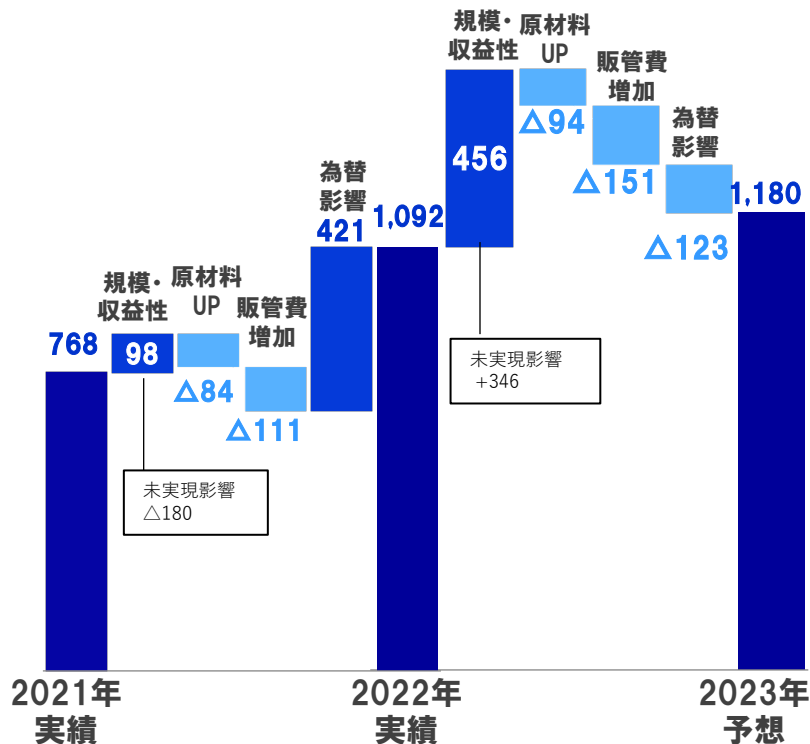
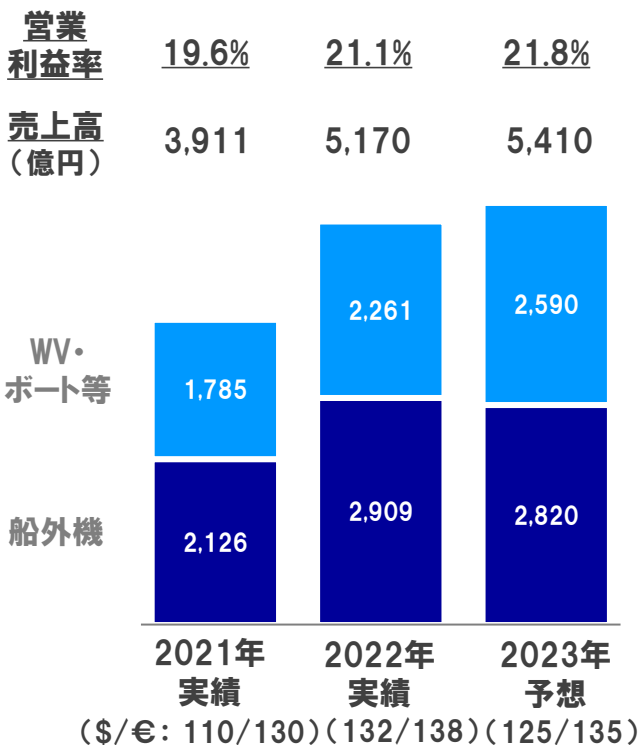


大型船外機は需要・出荷ともに好調継続。

価格転嫁の効果が本格化し、3期連続の過去最高売上高・営業利益を見込む。

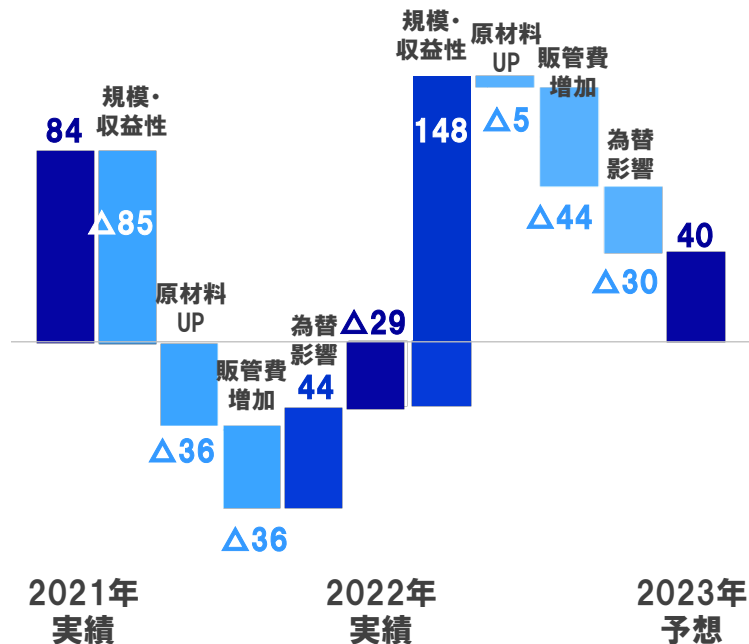
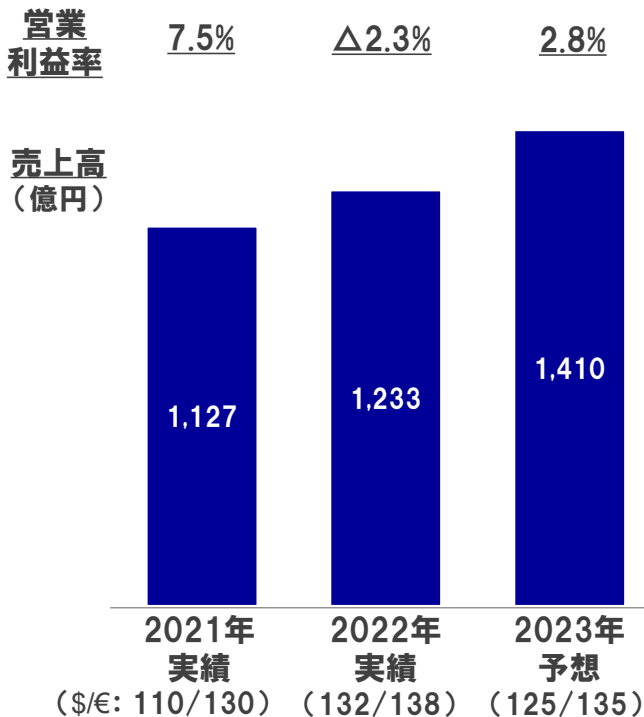
投資倍増で大型船外機の生産能力増強を加速。

利益変動内訳

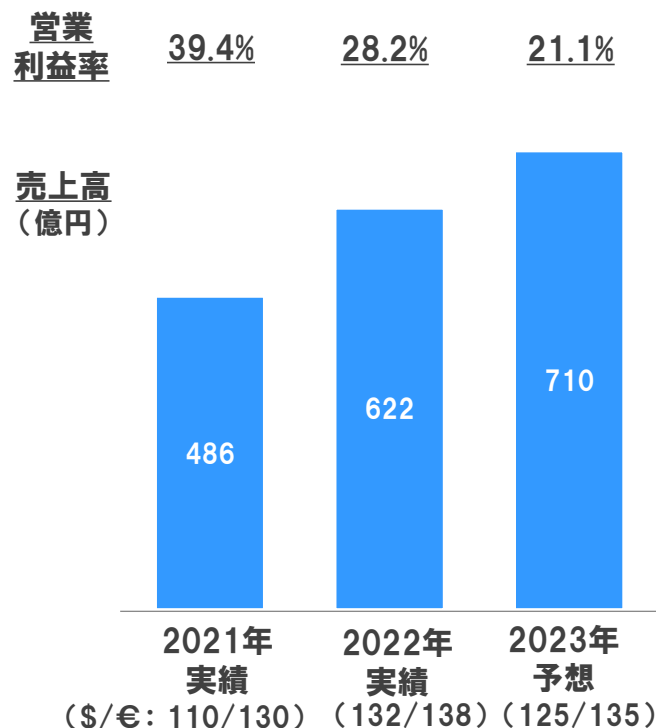
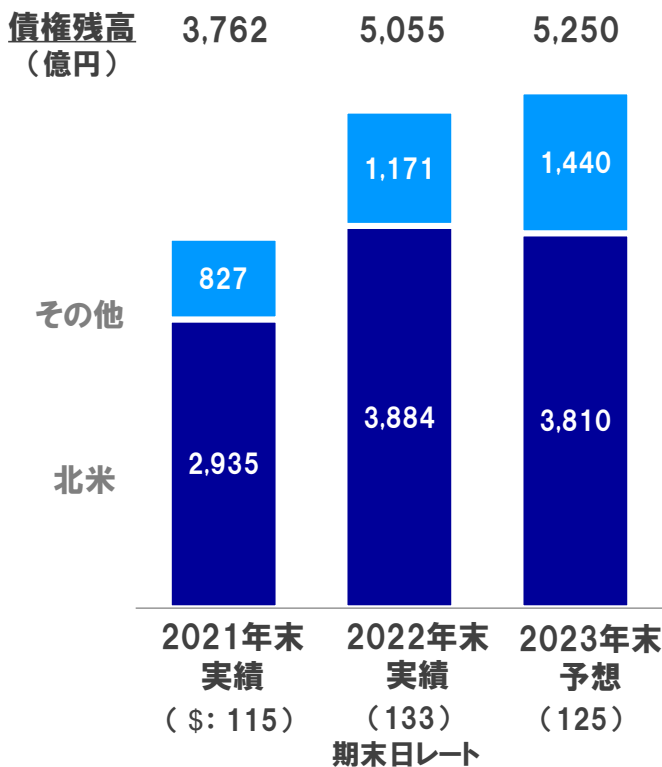


アウトドアレジャー需要は堅調も、米国生産拠点の生産稼働率の低下や製造原価の上昇により減益。2023年は前年の挽回をはかる。

利益変動内訳

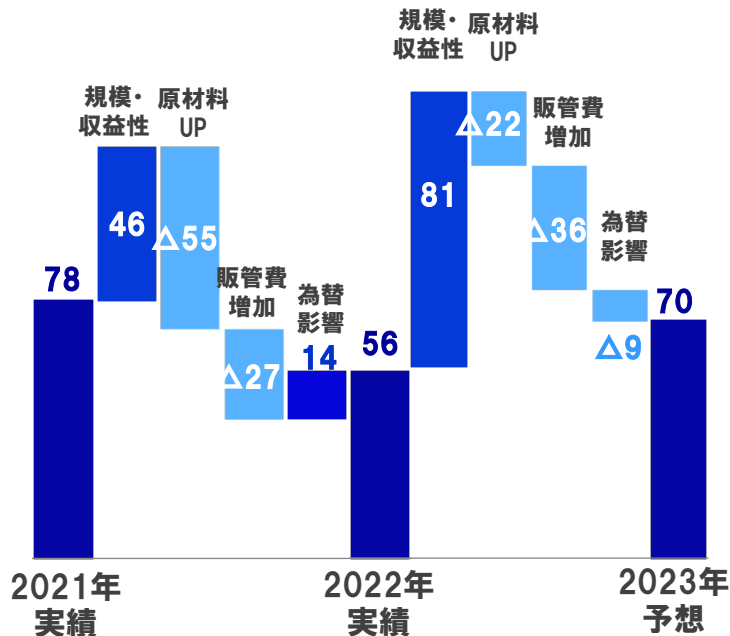
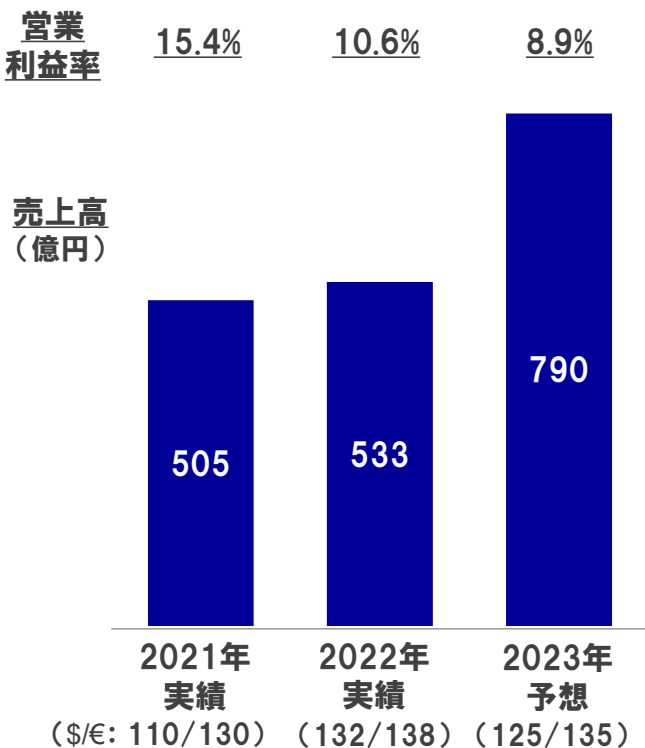


債権残高は安定的に増加し、増収。調達コスト増加、前年の一過性のプラス影響により、減益。2023年は金利上昇リスクを前提に厳しめに織り込む。

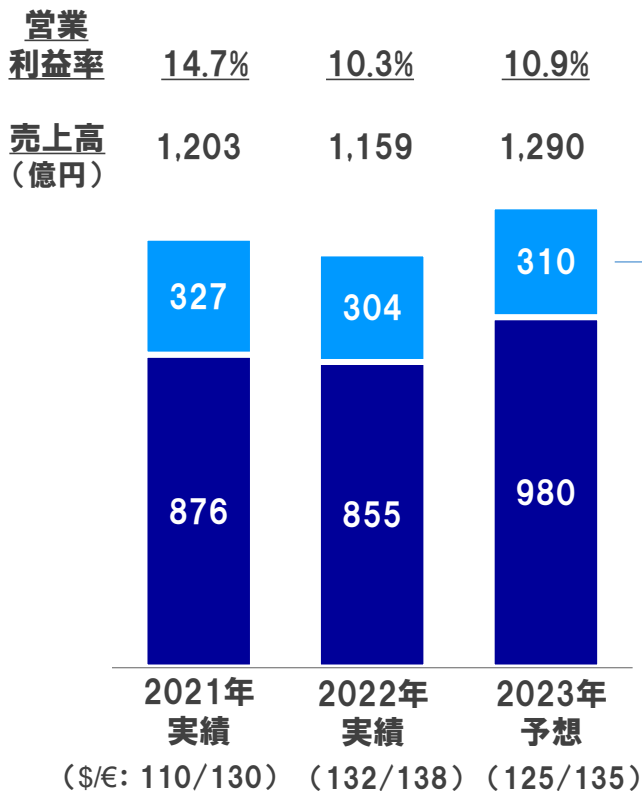


上海ロックダウンに起因する部品不足や物流遅延で生産遅れが発生し、売上微増。
1Qに発生した一過性費用計上で減益。2023年に生産の正常化に向けて挽回をはかる。

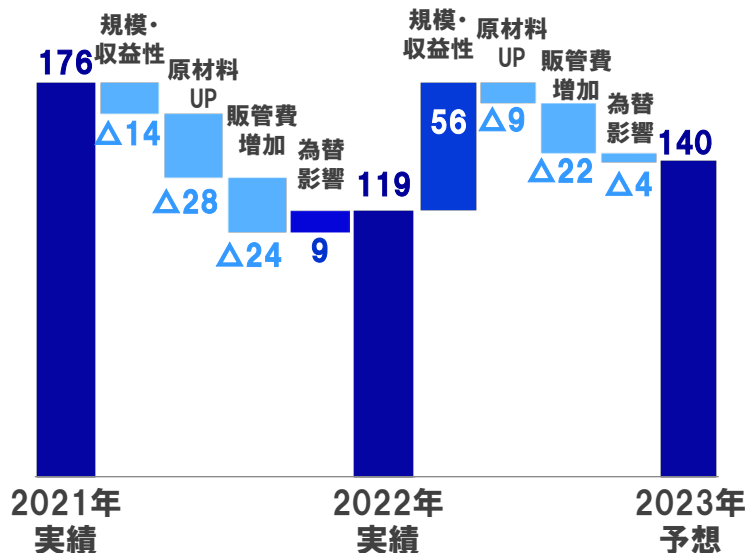
利益変動内訳



中国での設備投資需要減退により、減収。部品・物流費の高騰で減益。
 車載需要は引き続き堅調。2023年下期以降、半導体市場の回復を見込む。



利益変動内訳





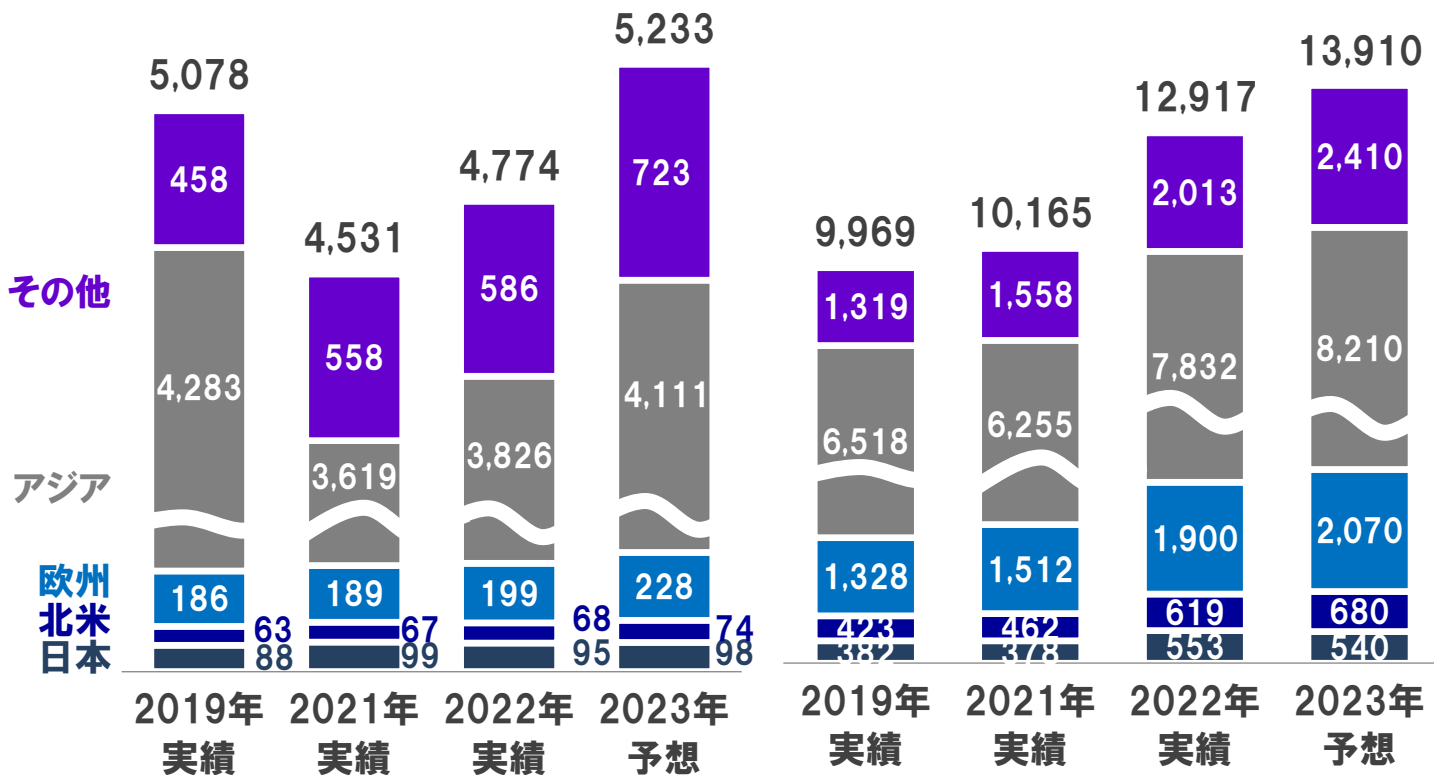
YAMAHA

Revs Your Heart

二輪車販売台数・売上高

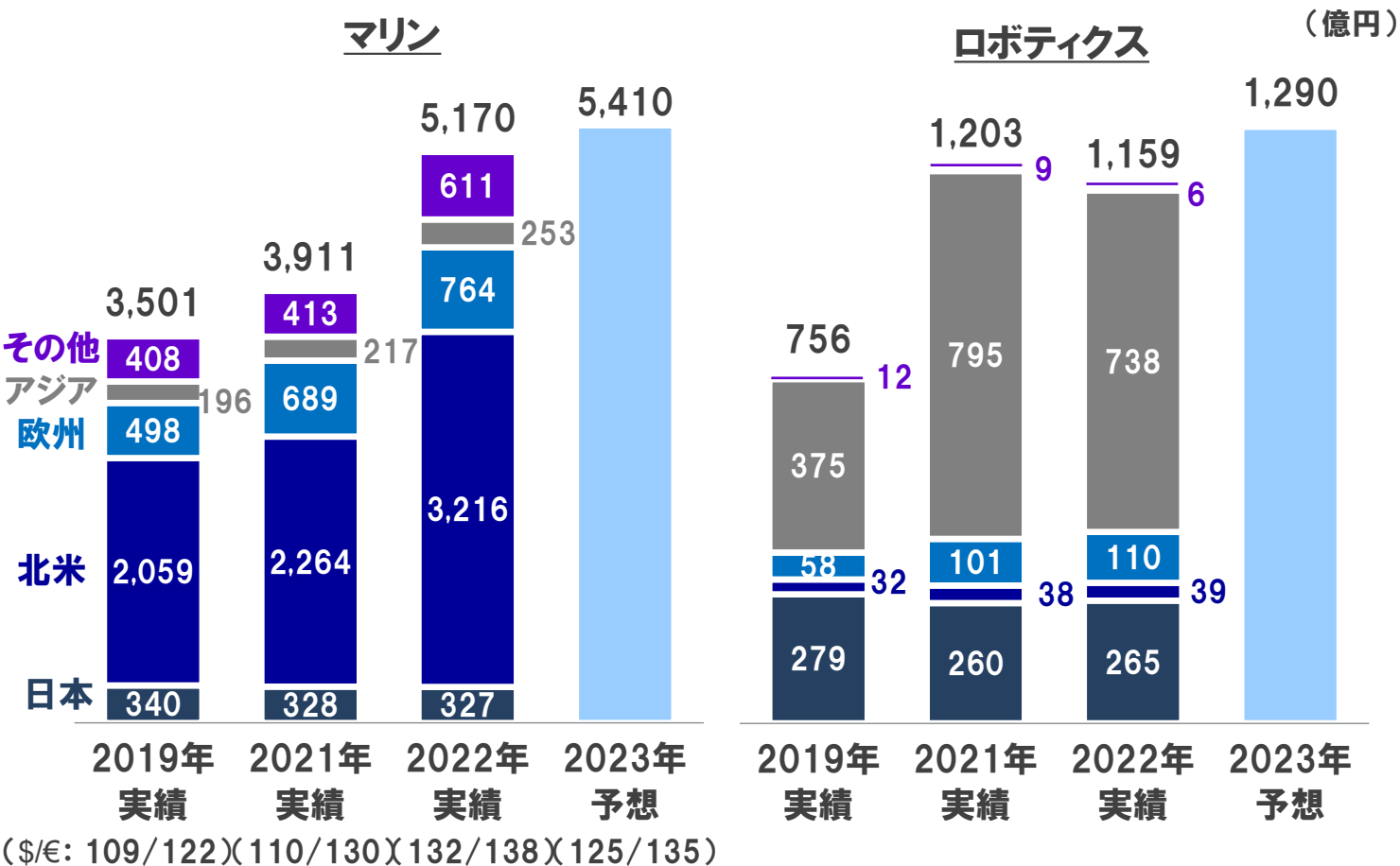
出荷台数
(千台)

売上高
(億円)



(\$/€:109/122)(110/130)(132/138)(125/135)

マリン、ロボティクス 売上高



主要商品別 当社出荷台数（2022年実績）

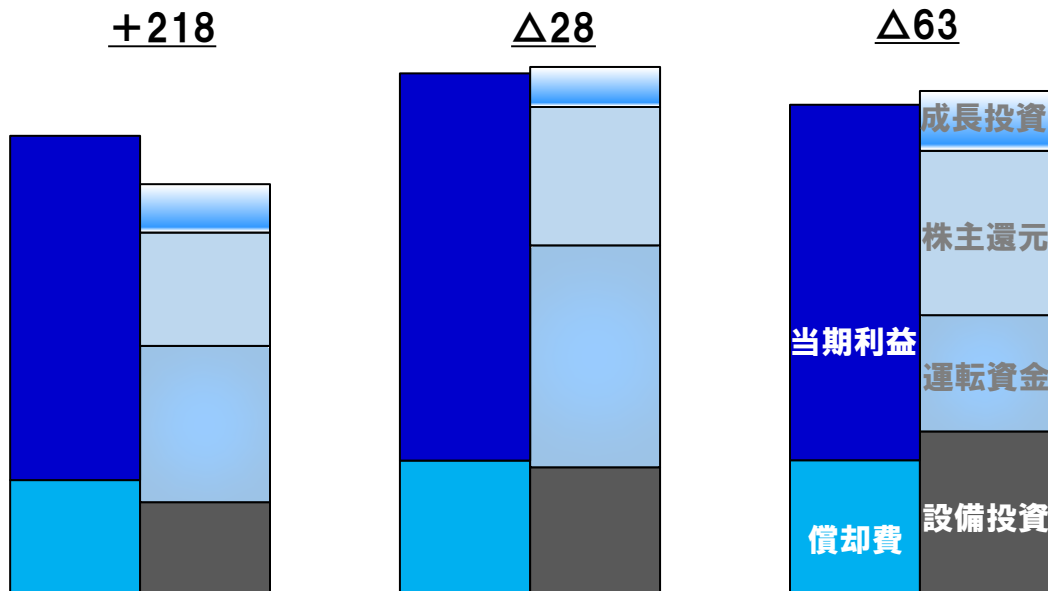
商品/地域		2019年比		2021年比	
		台数	在庫	台数	在庫
二輪車	欧州・米・日本	110%	102%	104%	157%
	インドネシア	81%	29%	109%	54%
	タイ	104%	41%	111%	103%
	ベトナム	97%	116%	117%	107%
	フィリピン	78%	57%	103%	115%
	中国	162%	119%	116%	117%
	インド	96%	79%	107%	68%
	ブラジル	157%	168%	114%	186%
ATV+ROV	北米	120%	79%	89%	132%
PAS		120%	-	95%	-
船外機	北米・欧州	120%	125%	109%	210%
マウンター		150%	-	91%	-

※在庫は各年末時点の実績。二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫。

キャッシュ・フロー(販売金融除く)

株主還元に必要なキャッシュを確保しながら、戦略的に成長投資を加速。

(億円)



Cash-In Cash-Out

2021年
実績

2022年
実績

2023年
予想

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	19年	21年	22年
設備投資	581	670	882
減価償却費	497	511	598
研究開発費	1,020	953	1,052
有利子負債	3,650	4,585	6,027

為替影響（対前年）

（億円）	22年 実績（年間）				23年予想（年間）			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	380	86	54	521	△153	△42	3	△190
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	108	108	0	0	△35	△35
粗利益の換算影響（海外子会社）	169	36	305	510	△118	△32	46	△104
販管費の換算影響（海外子会社）	△134	△27	△174	△335	85	24	△89	20
営業利益への為替影響	415	95	293	803	△186	△50	△73	△309

為替感応度

1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$ EURO
18億円 11億円

US\$ EURO
23億円 13億円



YAMAHA

Revs Your Heart